

あたらしい絵本 No. 535 2026. 9. 5



『まねてみよう』 青物横丁／作

・ついついまねしたくなる、変な顔がたくさん。そっくりにまねできるかな？まねできても、できなくてもなんだか楽しい！子どもの反応だけでなく、親子のコミュニケーションも自然に促す絵本。（幼0～2歳）



『にんじん』 長谷川 義史／作

・にんじんが細長一くのびたら「にーんじん」。にんじんがふたつに分かれたら「にんじん、じん」。にんじんがまるまる太ったら…？「にんじん」の擬音語・擬態語と音に合わせた「にんじん」の絵本。（幼0～2歳）



『ギョウザくんとシュウマイちゃん』 はしもと えつよ／絵

・羽根つきギョウザになりたいギョウザくんと、エビシュウマイになりたいシュウマイちゃん。願いを叶えてくれる神社に行ってみようと、ふたりで店を飛び出した。でも今日はお祭りで、子ども神輿に踏みつぶされそうに…!？（幼0～5歳）



『うるさいぞう!』 丸山 誠司／作

・水牛がドコドコとやってきた。象は「うるさいぞう! すいこむぞう!」と言って、文字の一部をすいこむと、ドコドコがトコトコになって、静かになり…。動物たちのとぼけた表情が楽しい、「音の引き算」絵本。（幼0～5歳）



『おにぎりをおかあさんに』 河原 和音／絵

・そうたは、おかあさんとふたりで暮らしています。スーパーで働くおかあさんのお昼ごはんに、そうたはおにぎりを作ることを思いつきました。でも、初めてのおにぎりづくりは、なかなか思うようにいかなくて…。（幼0～5歳）



『やまゆり』 たての ひろし／さく

・やまゆりの芽生えと成長は美しく、老いや死までもが希望に満ちている。やまゆりは誰かの場となり糧となり、森の一部となり森そのものとなる。日本絵本賞受賞の「どんぐり」に続く、たてのひろしが描く植物の絵本。（幼0～5歳）



『こひつじのくびかざり』 なかの 真実／作

・おかあさんひつじから、鈴のくびかざりをもらったこひつじ。翌朝、遊びに出かけると、鈴を鳴らしながら、どんどん丘の向こうへ。気づくと森の中に、こひつじを見つめる黒い影が…。新しい一歩を踏み出す、全ての人に贈る物語。（幼0～5歳）

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『おとまりペンギン』 降矢 なな／絵

・なずちゃんの家におとまりに来たペンギンのペンちゃんは、「おうちに帰りたいの」と言って、部屋をめちゃくちゃに。なずちゃんが思わず、ペンちゃんのおしりにどーんしたら、ふたりはとびっきりの友だちになって…。
(幼3～5歳)



『ねこバスツアー』 北村 裕花／絵

・今日は、待ちに待ったミケネコかんこうのバスツアー。ねこたちが、にゃーにゃーと1台のバスに乗りこんでいきます。かつおぶし工場見学や海水浴など、たっぷり食べて遊んで楽しんで…。(幼3～5歳)



『ほげちゃんいなかに行く』 やぎ たみこ／作

・ゆうちゃんの家族は、パパのいなかに行ってきました。ぬいぐるみのほげちゃんもいっしょです。楽しい夏休みになるはずが、おじいちゃんに失礼なことを言われ、ほげちゃんは家を飛び出し…。ほげちゃんのゆかたの作り方も掲載。(幼3～5歳)



『ぼんたと なっちゃん』 ひろた だいさく・ひろた みどり／作

・なっちゃんは、大好きなぬいぐるみのぼんたと、おばあちゃんの家まで出かけます。裏の畑は、どろだらけで葉っぱが生いしげって、なっちゃんにはジャングルのように…。夏の日小さな大冒険を描いた絵本。(幼3～5歳)



『じしゃくの手!』 岡本 好明／写真

・遠くのを引きよせたり、ものをいっばいつかんだり、キライなものをとばしたり…。じしゃくには見えない「手」があるの? 実験を通してじしゃくの性質を感覚的に学ぶことができる、「くすっ」と笑える科学絵本。
(幼3～5歳、小初)



『あたまにのったタコ』 たしろ ちさと／作・絵

・ひとりの男の子が海水浴へ行ったら、海にもぐったら、出てきたときには頭に小さなタコがのっていた! タコは頭の上でどんどん大きくなり、男の子はタコを頭にのせて学校へ…。少年の成長と言葉を超えた友情を描く。
(幼3～5歳、小初)



『まゆとそらとぶくも』 降矢 なな／絵

・ある日、まゆは原っぱでおかしなものを見つけました。それは、草むらの上にぷかんと浮かぶ白い雲。つかまえて飛び乗ると、雲はバビューンと空高く飛び上がり…。まるで自分も空を飛んでいるような気分になれる絵本。
(幼3～5歳、小初)



『みてごらん、こんなめちゃくちゃにして!』 劉 旭恭／さく

・ひまでしかたがない大統領は、部長のオフィスをちょっとのぞいてみたのですが…。どうしてこんなめちゃくちゃなの? ユーモラスなイラストと繰り返しがおもしろい、台湾絵本界を牽引する絵本作家の代表作を邦訳。
(幼3～5歳、小初)